

平成28年度第3回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会議名 平成28年度第3回木更津市史編集委員会

2. 開催日時 平成29年3月27日(月) 午後3時00分～午後4時00分

3. 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室 F

4. 出席者 市史編集委員会委員 出席8名

金子馨委員長、三浦茂一副委員長、成田篤彦副委員長、相山林継委員、
川戸貴史委員、實形裕介委員、石井良幸委員、山口芳一委員

教育委員会事務局 5名

齊藤良二教育部次長、山口玲子文化課長、小高幸男主幹、中能隆主幹、
寺原進主事

5. 議題及び公開又は非公開の別

議題 木更津市史編集基本構想及び基本方針の一部改正について(公開)

報告1 平成28年度第2回木更津市史編集委員会会議内容(公開)

報告2 木更津市史編集部会(公開)

報告3 平成29年度木更津市史編さん事業計画(公開)

6. 傍聴人 なし

事務局(小高主幹)

定刻となりましたので、ただいまから本年度最後の木更津市史編集委員会を開会いたします。本日の進行は、文化課小高が務めさせていただきます。よろしくお願いたします。なお、島立委員ならびに池田委員より欠席の連絡がありましたのでご報告いたします。

会議につきましては、附属機関設置条例第6条第2項の規定により成立しております。また、会議は公開で行ないます。ご了承下さい。

はじめに、金子委員長よりご挨拶をたまわりたいと存じます。

金子委員長 みなさんこんにちは。今日は第3回市史編集委員会として開催いたしますが、これまで方針などを定め、具体的な調査活動も始まり、その中で色々と課題が出てきたことについて審議いただきたいのでよろしくお願いいたします。

事務局(小高主幹)

ありがとうございました。本日高澤教育長、堀切部長におかれましては、公務のため欠席させていただきます。教育長にかわり、齊藤次長よりごあいさつ申し上げます。

齊藤教育部次長

みなさんこんにちは。本日は大変お忙しい中、今年度最後の市史編集委員会にご出席いただきありがとうございます。高澤教育長にかわりまして、ごあいさつ申し上げます。

さて、本日皆さまにご協議いただくのは「市史編集基本構想および基本方針の一部改正について」でございます。昨年度に設置した市史編集部会による調査状況を踏まえて、見直すものでございます。改正内容についてご説明いたしますので、忌憚ないご意見をいただき、十分なお審議をお願いします。

また、平成 29 年度 4 月から新たな専門部会も設置するため準備を進めており、その報告などもございます。なにとぞよろしく申し上げます。

事務局（小高主幹）

会議に入る前に資料確認をお願いいたします。（資料確認）

それでは、議事に入ります。議長は委員長が務めることとなっておりますので、これからの議事進行を金子委員長をお願いいたします。

金子委員長　これより議長を務めさせていただきます。本日は、一つの議題が提出されておりますので、事務局の説明をお願いします。

事務局（寺原主事）

それでは、説明させていただきます。平成 27 年 3 月に定めた「木更津市史編集基本構想及び基本方針」の一部改正について提案します。

改正部分は、別表 4『木更津市史』刊行計画です。議題資料の 1 ページに「改正前」、2 ページに「改正後」を掲載しておりますのでご覧ください。見直した箇所は、「改正後」の太枠線でくくっております。これは昨年度第 3 回市史編集委員会において協議・了承いただいた「史料編」等の発行年度（予定）および市史編集部会の作業計画等をもとに見直しております。

まず市史編さん室は、作業場所及び組織化について来年度以降も継続検討してまいります。次に、市史編集部会の部会長・部会委員の選定から『木更津市史』編さん・刊行の項目について、見直した項目は、部会長・部会委員の選定年度、部会の設置年度、市史調査協力員募集・登録の期間、『木更津市史研究』の発行年度、『公開講座記録集』の項目追加および発行年度、「自然編」や「史料編」の考古編および古代中世編、『民俗調査報告書』、Web 版『木更津市史』にかかわる編さん期間です。そして年度ごとに発行する冊子の点数も、『木更津市史研究』と『公開講座記録集』を含めた点数にしております。

このことについて、協議の上ご了承いただきたいと存じます。私からは、以上です。

金子委員長 ありがとうございます。只今、事務局から議題について説明がありました。
このことについてご意見願います。

梶山委員 今日欠席の島立さんも（市史編集部会）委員になっているけれども、民俗の
所と公開講座記録集の所を多少動かしているようだが、島立さんは承知しても
らっていますか。

或いは、事務局のほうで予定がこうなるのだということで行くなら、それで
良いけれども、その点はどうですか。

事務局（小高主幹）

民俗部会長にも発刊計画とこの刊行計画で進めたいと説明しております。そ
れにあわせて調査活動を行っていただいております。

梶山委員 そういうことであれば、あとは良いんじゃないでしょうか。

實形委員 編さん室の設置についても変更していますが、組織の面でなかなか場所を確
保することができない。本格化するにあたって、なるべく早くその辺を充実さ
せていくことが大切で、現状に合わせて変更したということでしょうが、なか
なか難しい面もあるところでしょう。

事務局（小高主幹）

編さん室の設置については、関係部署と調整しているところです。決まり次
第、そちらで作業を継続して進めていきたいと考えております。

實形委員 古文書ですと、トータルどのくらいなるのかわかりませんが、ダンボール箱
をかなり使用する。古文書を借りてこないと受入作業はできませんが、借りて
きたものを一時的に整理する。こうした作業を編さん室設置にあわせて少しづ
つ行っていけるようにしていければいいと思います。

金子委員長 他に意見はありますか。

それでは、今回の改正について了承ということによろしいでしょうか。

（出席委員了承）

金子委員長 事務局は、本日の意見を踏まえながら、改正の準備等必要な事務を進めてく
ださい。

事務局（山口文化課長）

承知いたしました。改正した後は、市のホームページ等で周知をはかってま
いります。

金子委員長 議題は以上で終わりですが、その他報告事項について事務局からお願いしま
す。

事務局（寺原主事）

それでは報告いたします。はじめに、前回の市史編集委員会の会議内容を報告いたします。資料 3 ページのとおり「著作物利用に関する覚書」と「執筆要項」について協議し、ご了承いただきました。執筆要項のうち「木更津市史研究執筆要項」は、来年度に『木更津市史研究』を刊行する予定のため、編集委員会委員の皆さまと部会の方々に送付いたしました。同要項で、執筆者に編集委員会の皆さまも含めて規定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、2「木更津市史編集部会」について報告いたします。

まず(1)「部会の設置」ですが、平成 29 年度から新たに考古部会、古代部会、中世部会、以上、三つの専門部会を設置いたします。委員数は資料のとおりです。新年度に入りまして、委嘱状交付、説明会等を行い、調査・研究を進める予定です。なお、部会委員の氏名等につきましては、次回の市史編集委員会におきましてご報告いたします。

(2)「活動状況」ですが、各部会長から提出された活動報告書を資料として掲載しております。詳細は資料をご覧ください。懸案事項として資料整理の作業を実施する場所や、継続的に資料整理・翻刻作業に従事できる人員の確保、各地区における資料の保存状況に詳しい方々や、その地域の歴史を学んでいる研究グループなどとの協力・連携を深める必要性などがあげられております。事務局といたしましては、来年度以降検討しながら対応を図りたい所存です。

このほか、資料には載せておりませんが、昨年 12 月 4 日（日）、中央公民館におきまして公開講座を開催いたしました。題名は「市史を編さんすること」と「こんなに身近に宝があった！木更津の古民家・近代建築をたずねて」の 2 編で、当編集委員会の実形委員と編集部会の渡邊部会委員に講師をお願いしました。なお、講座の内容については、来年度刊行する公開講座記録集に掲載する予定です。

最後に、資料 7 ページ、3「平成 29 年度木更津市史編さん事業計画について」報告いたします。

(1)「冊子の発行」は、『木更津市史研究』等を予定しております。このうち、『市史編さんだより』については、内容をより充実したものにしたいので、市史研究とともに原稿執筆等に係るご協力をお願いいたします。

(2)「木更津市史編さん事業公開講座」については、今年度に引き続き開催する予定です。講座内容、開催日等決まり次第お知らせいたします。

(3)市史編さん室については、先ほどの議題でも説明したように、作業場所及

び組織化について、来年度以降も検討してまいりたい所存です。私からは、以上です。

金子委員長 ただ今の報告事項について、質問などがありましたらお願いします。

實形委員 4月1日から考古・古代・中世の三部会を設置するということですが、これで専門部会は全部そろったということになりますか。

事務局（小高主幹）

八部会のうち七部会の設置となります。残り一つのデジタル作業部会については、Web版『木更津市史』を編集するさいに設置する予定です。Web版『木更津市史』の編集は、平成32年度から作業を計画しておりますので、その頃の設置を考えております。

實形委員 来年度から、とりあえずの部会の活動が始まるので、そこで部会長の会議等の集まりも始まるということでしょうか。

事務局（小高主幹）

部会長の集まり（会議）というのは予定しておりませんが、編集委員会の申し出により部会長を集めた会議を必要とするときは、その都度、会議を開く予定です。

椛山委員 今の話ですが、やはり編集委員会が（編さん方針など）上だけで決めたりするのもよくないので、部会長とうまく連絡が図れるようしていただきたい。

事務局（小高主幹）

承知いたしました。

實形委員 来年度の冊子関係で、『木更津市史研究』創刊号の投稿希望は現状で丁度いいぐらいになっていますか。

事務局（小高主幹）

事前に創刊号と第2号への執筆について部会の方々に伺ったところ、ともに10数名から執筆可能とのお返事をいただいております。

なお、執筆依頼については編集委員会委員の皆さまにも送付しておりますので、可能であればご寄稿ください。よろしく願いいたします。

金子委員長 それでは、議事並びに報告事項終局ということで、ここで議長職を解かせていただきます。今年度も皆さまのご協力により市史編集委員会を滞りなく進められました。改めてお礼申し上げます。本日はありがとうございました。

事務局（山口文化課長）

金子委員長、ありがとうございました。これを持ちまして、平成28年度第3回木更津市史編集委員会を終了させていただきます。次回の市史編集委員会

ですが、本年 6 月 30 日をもって現在の委員皆さまの委嘱期間が終了いたします。7 月に入りましてから、新委員への委嘱状交付式とあわせて開催する予定でございます。日程が決まり次第、ご案内いたします。本日は、皆さまありがとうございました。

平成 29 年 3 月 27 日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 金子 馨